

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 輝HIKARIさいたま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			配置基準を満たしております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		手すりなどはなく、バリアフリーに特化したつくりとはなっていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			施設の目標を半期ごとに目標設定をして、振り返り再設定しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方から頂いた意見に速やかに目を通して対応できるように心がけています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の外部評価は受けていません
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			入社後一定期間OJTを行っているほか、定期的に外部講師を呼んで研修を実施しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画は日ごりの様子をアセスメントし、ご利用者様のニーズも踏まえ計画を策定しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ある程度定型化したツールを元にアセスメントを行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数のスタッフで話し合い、決めるようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			複数のスタッフで話し合い、決めるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個人毎に課題ファイルがあり、支援レベルを調整しながら支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動の時間を大切に、能力に応じてサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼や昼礼を行い、その日の内容や役割などを確認して支援に入っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎の都合上全員で終礼を行うのは難しいですが、できるだけ多くのスタッフで振り返り、支援を共有できるよう工夫しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人ファイルで個別支援の状況を記録しているほか、必ずその日起こったことや気づきを記録しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度モニタリングを実施し計画を見直ししています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			いくつかの基本活動を組み合わせ支援を行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		基本的には保護者様との情報共有となります。状況に応じて学校との共有に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	契約時や変更時に確認していますが、現在対象児童はおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	支援計画を把握する程度です
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	求められた場合提供していきます。これまで特に求められておりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	契約時やモニタリング時に情報共有することはあります。連携とまではなっておりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	基本的に交流、活動する機会はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在は参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や連絡帳、送迎時などに共有して共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	施設内では現在、ペアレントトレーニングの支援はしていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更時に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話、直接相談をしたり、できる限り情報提供をしています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			すぐに情報を共有し、即座に対応策を考えたり、保護者に電話したり訪問して迅速に対応しているつもりです。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページなどで活動を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			スタッフ、ご利用者とも、秘密保持契約を結ぶなど注意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			面談や連絡帳、電話、メールなどを利用しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			昨年は秋祭りを開催し、地域の方が参加できるようなイベントを行いました。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		スタッフ間で共有し、改訂した場合は適宜配布をしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	必要な訓練はしていますが、曜日によって全員はできていません。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	必要に応じてご説明しますが、現在対象のお子さんはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食物アレルギー対応の子供の情報共有はできていますが、医師からの指示書は特にいただいていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットファイルがありスタッフ間で共有しています。